

四日市版コミュニティスクール報告書（令和5年度総括）

四日市市立大池中学校
校長 後藤 大介

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

保護者および地域住民が一定の責任を持って学校経営に参画し、学校教育活動の充実に向け、学校や保護者及び地域住民が協働し学校づくりビジョンに掲げる「つながる教育、つながりあう学校」の実現を目指します。

また、四日市版コミュニティスクールとしての取り組みを進めることで、県地区・三重地区にまたがる本校の校区に、地域・家庭・学校が一体となって子どもたちの健全育成を図るための子ども支援ネットワークの構築に努めていきます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①大池中学校コミュニティスクール運営協議会

本年度も計画通りに、年間5回の運営協議会を開催いたしました。

第1回、第2回、第5回の会議では、運営委員の方に普段の授業を参観いただき、第3回は体育祭、第4回の会議は文化祭・校内合唱コンクールを参観していただくことで、生徒や保護者の様子を把握していただきました。

②地域とつながる学習

地域とつながる学習として、中学生が地域の団体や施設に直接出かけ、地域の方々との交流を深めています。

・「有志による合唱」

毎年、校区内の施設で合唱を披露し、施設や地域の方々に喜んでいただいている「有志生徒による合唱」の活動が行われますが、本年度も新型コロナウイルス感染防止のため、この活動は残念ながら中止となりました。（令和6年度実施予定）

・「地域子ども教室」

子どもたちの学習意欲の向上と学習習慣の定着を図ることを目的とし、コミュニティスクール委員をはじめ、地域の一般学習ボランティアの方々にも協力依頼して、長期休業中に開催しました。

・「御池沼沢除草作業と学習」

国の指定天然記念物「御池沼沢植物群落」が校区内にあり、珍しい植物が多数生息しています。学習を詳しく深めるため毎年1年生にて、四日市市シティプロモーション部文化課より講師をお招きし、「御池沼沢」についての講演会を本年度も12月に開催しました。

学習後には御池沼沢の除草作業も行い、環境保全の大切さや地域にある自然についても認識を新たにすることができました。

・「人権学習」

視覚障害の方をゲストティーチャーにお招きし、三重県発祥の競技である、SSピンポン（SSとは、生涯(Syougai)とスポーツ(Sports)の頭文字）について一緒に体験し、ともに生きる学習を行いました。



・「先輩から学ぶ」

本校の本校卒業生でピアニストとして演奏会やラジオ等で活躍する佐藤愛様をお招きし、講演会を開催しました。

ピアニストになったきっかけやピアニストの仕事、フランス留学や生きがい等を、パワーポイントを活用しながら、生徒たちにわかりやすく説明していただきました。

また、フランス仕込みの演奏を披露したとき、演奏は言うまでもなく素敵ですが、弾いている時の没頭している顔つきや力強い表現のフォルテ時に立ちあがる姿を見て生徒たちは驚き、「自分たちの身近にこんなに素晴らしい人がいたのだ」と感動していました。



・「職場体験学習」

校区内にある「牧場」や「福祉施設」を含め、50以上の事業所にお世話になり、職場体験学習をさせていただきました。生徒たちは、学校では学ぶことのできない様々な体験をさせていただき、充実した3日間を過ごすことができました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

運営協議会開催時には、運営委員の皆様からいただいたご意見を、全教職員で共有し、学校改善・運営に反映させております。

特に第5回の運営協議会では、生徒・保護者及び教職員による「学校自己評価の結果分析」などを提供し、学校の教育活動や運営方針等の状況について客観的な評価をいただくとともに、会議では学校に対する様々な角度からの助言をいただき、ました。委員の皆様からいただいたご意見は、教職員への励ましや、今まで本校の教職員の頑張りをお認めいただくお言葉が多く、たいへん嬉しく思いました。



また、学校自己評価から、先生方は一生懸命に頑張っている様子が伺える。頑張りすぎて先生方が体調を崩されないようご注意ください。とご心配いただきました。今後も生徒ファーストの精神で更なる頑張りから、より良い大池中学校となるよう努めてまいります。

3 今後に向けて

アンケート結果の生徒の現状から、「不登校生徒・不登校気味の生徒の対策」が、見える課題としてあげられます。

教師は、不登校になる要因のひとつとして、子どもたちの困難さに立ち向かう力が年々弱まっていることを共通認識しています。今後も子どもたちが課題を克服することができる力を身に付ける努力を継続していく必要があると考えます。

また、「先生が忙しすぎる」教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、心身共に健康な教師として、子供たちに対し効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、学校における働き方改革を進めていくことも大切であると考えます。

運営協議会を生徒の豊かな成長を促進するための場となるよう、教職員が様々な研修を積み重ね、大池中学校区に根差した独自のスタイルを確立させていくために、今後も運営協議会委員の皆様のご協力をいただきながら更に前進させていきます。

別紙B

令和5年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立大池中学校

委員長 樋口 悟士

校長 後藤 大介

月	協議会の開催	活動内容
4		
5	第1回運営委員会（30日）	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、自己紹介、委員長の選出 ・コミュニティスクールについて ・年間計画について ・令和5年度大池中学校づくりビジョンについて ・生徒の様子や生徒指導上の課題について ・学校指定品について ・授業参観
6		
7	第2回運営委員会（4日）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・生徒の様子や生徒指導上の課題について（長期休業期間を含む）
8		
9	第3回運営委員会（20日）	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭参観 ・参観後の感想及び意見交換
10	第4回運営委員会（27日）	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭、校内合唱コンクール参観 ・参観後の感想及び意見交換
11		
12		
1		
2	第5回運営委員会（8日）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・学校の様子報告及び意見交換 ・今年度の「学校自己評価」提示及び意見交換 ・来年度の「学校経営・運営」について説明
3		